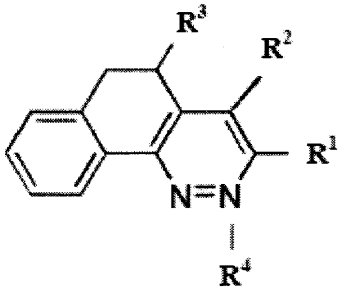
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公表番号】特表2008-518955(P2008-518955A)
【公表日】平成20年6月5日(2008.6.5)
【年通号数】公開・登録公報2008-022
【出願番号】特願2007-539297(P2007-539297)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 401/12　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 403/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/506　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/502　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/5377　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 413/12　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 403/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/28　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 29/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 401/12
Ｃ０７Ｄ 403/12　ＣＳＰ
Ａ６１Ｋ 31/506
Ａ６１Ｋ 31/502
Ａ６１Ｋ 31/5377
Ｃ０７Ｄ 413/12
Ｃ０７Ｄ 403/14
Ａ６１Ｐ 25/28
Ａ６１Ｐ 43/00　１１１
Ａ６１Ｐ 25/00　１０１
Ａ６１Ｐ 29/00

【手続補正書】
【提出日】平成20年11月4日(2008.11.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表１において表されていない化合物であって、単離されて実質的に純粋な、式Ｉの化合物またはこの異性体、もしくは薬剤として許容されるこれらの塩。

【化１】



（式Ｉ）

［式中、Ｒ^{1}、Ｒ^{2}、Ｒ^{3}およびＲ^{4}は、独立に、置換または非置換の、水素、ヒドロキシル、アルキル、アルケニル、アルキニル、アルキレン、アルケニレン、アルコキシ、アルケニルオキシ、シクロアルキル、シクロアルケニル、アリール、アリールオキシ、アリールアルコキシ、アロイル、ヘテロアリール、ヘテロ環、アシル、アシルオキシ、スルホニル、スルフィニル、スルフェニル、アミノ、イミノ、アジド、チオール、チオアルキル、チオアルコキシ、チオアリール、ニトロ、ウレイド、シアノ、ハロ、シリル、シリルオキシ、シリルチオ、カルボキシル、カルボキサミド、カルボニル、またはカルバモイルであり、またはＲ^{4}は、存在しなくてもよく、２位のＮと３位のＣとの間に二重結合が存在し、ただし、（ｉ）Ｒ^{2}およびＲ^{3}が水素であり、Ｒ^{4}が存在しない場合は、Ｒ^{1}は、クロロ、－ＳＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$Ｎ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$）$_{2}$、または－ＮＲ^{21}Ｒ^{22}（ここで、Ｒ^{21}は、エチルであり、Ｒ^{22}は、モルホリニル、ベンジルで置換されたピペリジニル、－ＣＨ$_{2}$Ｎ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$）$_{2}$もしくは－Ｎ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$）$_{2}$であり、またはＲ^{21}は、水素であり、Ｒ^{22}は、－ＮＨ$_{2}$または水素である）ではなく、（ｉｉ）Ｒ^{3}が水素であり、Ｒ^{4}が存在せず、Ｒ^{1}が、＝Ｏである場合は、Ｒ^{2}は、－ＣＯＯＨまたは－Ｃ（＝Ｏ）－ＯＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$ではなく、（ｉｉｉ）Ｒ^{3}が水素であり、Ｒ^{4}が存在せず、Ｒ^{1}がクロロである場合は、Ｒ^{2}は、メチルではない］。

【請求項２】

前記式Ｉの化合物におけるＲ^{1}が、１つまたは複数の適当な置換基を有してもよいヘテロ環基であり、場合により、Ｒ^{2}が、水素、アルコキシカルボニル、特に、メトキシカルボニル、エトキシカルボニル、イソプロポキシカルボニル、ｔ－ブトキシカルボニル、ｔ－ペンチルオキシカルボニル、またはヘプチルオキシカルボニル、またはアルキルアミノカルボニルであり、Ｒ^{3}が、水素またはアルキルであり、Ｒ^{4}が、水素であるか存在しない、請求項１に記載の式Ｉの化合物。

【請求項３】

Ｒ^{1}が、１～４個の窒素原子を含む、置換または非置換のヘテロ単環基である、請求項２に記載の式Ｉの化合物。

【請求項４】

Ｒ^{1}が、ピロリジニル、イミダゾリジニル、ピペリジニル、または置換されていてもよいピペラジニルである、請求項３に記載の式Ｉの化合物。

【請求項５】

前記ヘテロ単環基が、いずれもが置換されていてもよい、ヘテロアリール、アリール、アルキル、またはヘテロ環で置換されている、請求項３または４に記載の式Ｉの化合物。

【請求項６】

Ｒ^{1}が、１～４個の窒素原子を含む、置換または非置換の不飽和５～６員ヘテロ単環で置換されたピペラジニルである、請求項３に記載の式Ｉの化合物。

【請求項７】

前記５～６員ヘテロ単環が、ピリミジニル、ピリジルまたはピリジニル、アリールまたは置換アリール、もしくはアルキルである、請求項６に記載の式Ｉの化合物。

【請求項８】

R^1が、ヘテロ環オキシ（heterocyclicoxy）で置換されたピペリジニルである、請求項４に記載の式Ｉの化合物。

【請求項９】

前記ヘテロ環オキシが、１～４個の窒素原子を含み、オキシで置換された不飽和５～６員ヘテロ単環基である、請求項８に記載の式Ｉの化合物。

【請求項１０】

表２において示される、請求項１に記載の式Ｉの化合物。

【請求項１１】

請求項１～１０のいずれかに記載の前記式Ｉの化合物、および薬剤として許容される担体、賦形剤、またはビヒクルを含む、薬剤組成物。

【請求項１２】

患者における炎症、炎症に含まれるシグナル伝達経路、細胞シグナル伝達分子産生、グリアの活性化またはグリア活性化経路および応答、炎症誘発性サイトカインまたはケモカイン、酸化ストレス関連応答、急性期タンパク質、補体カスケードの成分、タンパク質キナーゼ活性、細胞損傷、および細胞死シグナル伝達経路のうち１つまたは複数の調節を必要とする疾患を治療するために使用される、請求項１１の医薬組成物。